



アーナンダ病院を訪問して **今井加奈子**
(大阪ハイテクノロジー専門学校 鍼灸スポーツトレーナー学科)

今回、姉と友人の計 3 人で一週間アーナンダ病院に滞在しました。デリーから 14 時間かけゴラクプール駅に着くと、グプタ先生がホームまで迎えに来て下さっており、その厳格そうな顔とは打って変わった優しになりました。

初日はグプタ先生の診察に付かせて頂きましたが、私には医学的知識が乏しいため、何か他のことができないか考え、友人と二人で患者さんに付き添い病院の外で待つ家族の方々と交流を始めました。日本から持ってきたペンと画用紙で絵を描いたり、協会の方より持っていきよう頼まれた折り紙を子供達に教えたりしました。言葉の壁はありましたが、好奇心旺盛な子供達に大人も混ざって、すぐに人だかりとなり二人であたふたしてしまっただのも良い思い出です。治療費が無料で、しかもグプタ先生の腕の良さが評判を呼び、毎日病院は多くの患者さんとその家族でごった返していました。その診察を一人でこなし、そしてバッテリー交換といった敷地内の管理も全てグプタ先生がされており驚きました。

。日中は 30 度を超え暑かったですが、朝方と日が暮れてからは心地よい気温でした。茅葺の家に家畜と共に暮す貧困層の生活も見せていただきました。経済発展が目覚ましいインドという国にまだまだ貧困の問題が根強く残っている現実を目の当たりにしました。このような人たちの生活を向上させるにはどうしたらいいのか、私の中に問題意識が目覚めました。今回アーナンダ病院を訪問して、貧困と隣り合わせで暮す人々を初めて目の当たりにしました。そしてその人たちに医療を施すグプタ先生の情熱に触れ、良い刺激を頂きました。自分の将来はまだ不明確ですが、きっと必ず人の為になる、人に必要とされる存在になりたいです。素晴らしい機会を与えて下さり有難うございました。